

平成 21 年第 2 回庄原市議会定例会

一 般 質 問 通 告 者
及 び
質 問 事 項

(3月4日、5日)

質 問 順 位

【代表質問】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 大 樹 の 会 (堀井秀昭) | 2. 野 の 風 (和田満福) |
| 3. 至 水 会 (横山邦和) | 4. 希 望 (田中五郎) |
| 5. 日本共産党 (谷口隆明) | |

【個人質問】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 藤 木 邦 明 | 2. 谷 口 勇 |
| 3. 赤 木 忠 徳 | 4. 宇江田 豊 彦 |
| 5. 小 谷 鶴 義 | 6. 林 高 正 |
| 7. 松 浦 昇 | |

庄 原 市 議 会

平成21年3月定例会 一般質問【代表質問】

順位	会派名 (質問議員)	項 目	ページ
1	大樹の会 (堀井秀昭)	これまでの成果とこれからの展望について	1
		21年度予算について	1
2	野の風 (和田満福)	新年度予算について	5
		産業廃棄物処理施設について	7
3	至水会 (横山邦和)	新市建設計画について	8
		自治振興区の活動支援は	8
		生活交通対策について	8
		地域活性化生活対策交付金について	8
		バイオマスタウン構想について	9
		西城市民病院の経営改革について	9
4	希望 (田中五郎)	農(林)業振興対策について	10
5	日本共産党 (谷口隆明)	4年間を振り返って	11
		水道水源保護条例の制定を	12
		生活交通のあり方について	13
		第4期介護保険事業計画について	13

平成21年3月定例会 一般質問【個人質問】

順位	質問議員	項 目	ページ
1	藤木 邦明	第2子、第3子の保育料の軽減について	15
		庄原市総合サービス俵等の賃金改善について	15
		イノシシ駆除の徹底について	16
		庄原中学校の建て替えについて	16
2	谷口 勇	集落支援員制度について	17
		まちづくり基本条例について	18
		低所得者対策としての生活支援・セーフティネットの体系化について	19
		魅力ある職場としての庄原市役所を	20
3	赤木 忠徳	オール庄原市でいきましょう	21
4	宇江田 豊彦	財政健全化に向けて	22
		人口減少の背景と要因について	22
		一昨年、西城市民病院へ導入した2社目コンサルティングの成果について	23
		市域での高校を守る取り組みについて	24
5	小谷 鶴義	長期総合計画の実施計画について	25
		乳幼児等医療費助成について	25
		乳牛対策について	25
		比和自然科学博物館地学分館整備対策について	26
		学校教育の充実について	26
6	林 高正	新庁舎ホールの活用案は	27
		道州制を見据えた自治振興のあり方について	27
		各種体育施設等の有効活用について	28
7	松浦 昇	市民が主人公の市政運営について	29
		西城市民病院の充実を	29
		平和行政の推進について	30
		青年が生きがいを持って住めるまちづくりを	31

【代表質問】

順位	1	会派名	大樹の会	質問者	堀井 秀昭
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. これまでの成果とこれからの展望について	合併後の4年間において重点的に取り組まれた施策や事業は何か。 市長は、2期目、4年間市政を担われることを表明されているが、思いと決意を伺う。 また、市長のイメージされる将来の庄原市の全体像はどのようなまちなのか。				市 長
2. 21 年度予算について	大樹の会として平成21年度予算編成についてさまざまな事項を要望している。どのような取り組みを行う予定か、次の事項について伺う。 (1) 健全な財政運営の取り組みについて 健全な財政運営を行うための取り組みはどのようにされるのか。 (2) 行政機構の見直しについて 各支所への専任支所長の配置継続等、支所機能の充実をどのようにされるのか。 (3) 建設計画事業の取り組みの推進について 新市建設計画への取り組みと旧市町の生活環境整備をどのようにされるのか。 (4) 生活交通について 公共交通幹線道路まで相当距離がある集落への交通対策をどのようにされるのか。				市 長 教育長

【代表質問】

順位	1	会派名	大樹の会	質問者	堀井 秀昭
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
2. 21 年度予算 について	(5) 保育所行政、放課後児童クラブについて ①市民ニーズに沿った保育所運営は、どのようにされるのか。 ②すべての小学校に人数を問わず放課後児童クラブを設置されたいが、どのようにされるのか。 (6) 少子高齢化対策について ①産婦人科・小児科の医師確保にどのように取り組まれるのか。 ②高齢者に対して介護の充実、生きがい対策をどのようにされるのか。 (7) 西城市民病院の運営について 西城市民病院を存続し、地域医療の充実と今後安心して治療ができる対策をどのようにされるのか。 (8) 飲料水・生活用水確保対策について 安心・安全対策として飲料水確保をどのようにされるのか。 (9) 商工観光振興対策について ①商工会及び商工会議所の育成・支援をどのようにされるのか。 ②地域活性化の手法としてどのような取り組みをされるのか。 ③観光産業の育成・支援をどのようにされ				市 長 教育長

【代表質問】

順位	1	会派名	大樹の会	質問者	堀井 秀昭
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
2. 21 年度予算 について	るのか。 (10) 道路改良等施策について ①国県への基幹道路網の改良と早期着手の働きかけをどのようにされるのか。 ②一体感の醸成と一体的発展のために合併支援道路並びに支所間 30 分道路など、市民生活に密着した道路整備をどのようにされるのか。 ③市道の整備、改良をどのようにされるのか。 ④除雪対策は、県との連携を密にして状況に応じた除雪計画とされたいが、どのようにされるのか。 (11) 林業振興について ①持続可能な森林経営をめざす施策をどのようにされるのか。 ②ひろしまの森づくり事業についてどのような取り組みをされるのか。 (12) 住環境の整備について ①農業集落排水事業等はどのように推進されるのか。 ②市町村設置型合併浄化槽の計画的設置と予算措置をどのようにされるのか。 (13) 工業団地への企業誘致と雇用確保について				市 長 教育長

【代表質問】

順位	1	会派名	大樹の会	質問者	堀井 秀昭
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
2. 21 年度予算 について	①工業団地への企業誘致は必須の課題だ。 どのような取り組みをされるのか。 ②産学官の連携で地域特性を生かした地場 産業の創出、雇用確保と経済活性化にどう 取り組まれるのか。 (14) 農業振興について ①安心、安全な庄原ブランドを確立するた めの農業振興をどのようにされるのか。 ②情報化時代に沿った営農に応える営農指 導員の育成強化と庭先指導の普及をどのよ うにされるのか。 ③耕作放棄地対策として農地保全に向けた 対策をどのようにされるのか。 (15) 教育行政について ①学校再配置計画に伴う休校の備品をどの ようにされるのか。 ②小中学校の耐震化事業をどのように進め ていくのか。 ③教職員の人材確保と質的向上・地域・家 庭・学校の有機的連携をどのようにされる のか。				市 長 教育長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 新年度予算について	会派「野の風」が新年度予算編成に向けて10項目を要望しているが、次の4つに絞ってどのように反映されているのか伺う。 (1) 道路網の拡充について ①主要幹線は国道、県道だが、合併支援道路として住民からの要望も強く、早期完成に向けて関係機関への対応を伺う。 ②市道管理のための草刈費用や維持修繕費を増額する考えがあるか。 ③市内には歩行者専用道路や横断歩道、信号機などが不足している。幼児や高齢者の安全のため、交通安全施設を拡充するよう関係機関と連携して取り組む考えがあるか。 (2) 農業振興について ①農業に携わる人の育成が急務であり、農業指導員など専門職の指導員を置く考えがあるか。 ②がんばる農業支援事業をどのように拡充していくのか。 ③生産性の高い作物や特産品の開発に対する予算を増額しているか。 (3) 安心・安全なまちづくり ①庄原赤十字病院では産科が休診して4年経過するが、再開の見通しが立っていない。産科に限らず緊急時には医師を速やかに呼				市 長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 新年度予算について	ぶことができる体制構築を求めているが、どのように考えているのか。 ②地元に病院があることほど住民にとって心強いことはない。地域医療の存続をどう図っていくのか。 ③段差のない歩道や身障者対応トイレがまだまだ不足している。すべての方にやさしいまちづくりを行うため、施設建設や改修時にはさまざまな検討を行い、使いやすいものとするよう求めているが、どう考えているか。 ④一部の地域には防災無線やオフトーク通信があるが、設置されていない地域もある。災害などの緊急時に対応するため、市として統一した無線機器の導入を求めているが、どう考えているか。 ⑤子育てを行っている世代は、経済的にも厳しい家庭が多い。こうした世代を支援するため、相談体制の充実や保育料の軽減など、物心両面からの支援策を求めているが、どう考えているか。 (4) 生活用水について ①生活雑排水を流させないための施策を充実する必要がある。現在は市町村設置型合併浄化槽方式を推進しているが、一部市街				市 長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 新年度予算について	地では店舗等の関係があり、なかなか進んでいない。そのため場所によっては集落排水方式を導入するなど、地域事情に応じた施策の展開を求めているが、どう考えているか。 ②水道布設が困難な地域について、ボーリング助成の拡充を求めているが、どう考えているか。				市 長
2. 産業廃棄物処理施設について	東城町のゴルフ場造成跡地に大規模な産業廃棄物処理施設の建設計画の動きがあるが、現在の状況はどうなっているのか。もしあるとすれば、市として阻止すべきと思うが、考えを伺う。				市 長

【代表質問】

順位	3	会派名	至 水 会	質問者	横山 邦和
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 新市建設計画 について	合併して5年目となる予算編成となるが、新市の建設計画の進捗率はどのような状況か。 今後の方針についても伺う。				市 長
2. 自治振興区の 活動支援は	現状の振興区の活動をどのように把握されているのか。 新しい取り組みも計画されているが、目的と取り組みの内容はどのようなものか。				市 長
3. 生活交通対策 について	生活交通再編計画をまとめられたが、現在の利用からすると問題が多い状況だ。最終目標とされているのは地域住民での対応であり、それへの支援体制と思うが、どのような方向を考えているのか。				市 長
4. 地域活性化生 活 対 策 交 付 金 について	地域別事業は緊急対策という面から住民合意等が得られない状況でも仕方ないといった面もあったと思うが、もう少し全体的な生活対策を検討される必要があったのではないか。東城まちなみ整備で拠点施設と伝統的建造物の併用検討、もっと全体的な事業に取り				市 長

【代表質問】

順位	3	会派名	至 水 会	質問者	横山 邦和
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
4. 地域活性化生 活対策交付金 について	組むことはできなかったのかという意見がある。伝統的建造物は用地取得のみだが、建築物の改修にも取り組まれると思うが、今後の方針を具体的に伺う。				市 長
5. バイオマスタ ウン構想につ いて	2月20日の新聞に、呉市の産業技術総合研究所のバイオエタノール製造プラントが稼動と発表された。本市でも工業団地において木質を原料としたエタノール製造を最終目標に支援している。改めて今後の方向について伺う。				市 長
6. 西城市民病院 の経営改革に ついて	職員の給与等の見直しが発表されているが、議員や執行者も苦しみをともにするといった姿勢が求められているが、所見を伺う。				市 長

【代表質問】

順位	4	会派名	希 望	質問者	田中 五郎
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 農（林）業振興対策について	（１）庄原市食糧基地建設計画（仮称）の策定による農業振興をすべきではないか。 庄原市農業自立振興プロジェクト報告書は、市職員によりまとめられたものであり、農家、ＪＡ、県を含めた共通認識計画ではなく、報告書で課題として整理されているＪＡと行政の方針の不整合、連携が不足し、ＪＡの力が生かされていないのが最大の問題と考える。県農林局も庄原へ設置される。新鮮で夢があり、希望の持てる農業振興計画を作成して農業施策を推進すべきではないか。 （２）ＪＡとの調整なくして出発した㈱庄原市農林振興公社について伺う。 ①設立の目的どおり順調であるのか。（成果と問題点は。） ②企画、設立、運営責任の立場にあった市派遣職員が年度途中で市に帰ったのは、公社自立の見通しが立ったからか。 ③19年産米の取り扱い実績（決算）は。 ④直販（生産指導を含む）部門はＪＡへ移管すべきでは。				市 長

【代表質問】

順位	5	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 4年間を振り返って	市政運営について総括的に伺う。 (1) 広大な新市の一体的な発展のためには、新庁舎や全域事業優先でなく、地域に密着した公共事業や学校耐震化など地域事業を優先すべきではなかったか。 (2) 本市の行政経営改革の基本理念、顧客思想、成果志向、マネジメント発想、あるいは自助・共助・公助、新しい公といった補完性の原理、これらすべてが新自由主義的構造改革の地方版だ。その根底は自己責任論。公的責任を果たす自治体の役割、真の住民自治とは相入れないのではないか。 (3) 保育所などの民間委託が、低賃金と引き換えのサービスの向上になっているのではないか。保育、教育など人間を育てるといふ崇高な仕事に財政効率を持ち込むことが社会の進歩なのか大いに疑問だ。国の示す基準の待遇は必要最低限ではないか。 (4) 一体感の醸成の名の下に旧町の個性、良さが失われた。新たにクラスターのまちを実現することも大切だが、合併当初から旧市町の各個性を守り尊重することでこそ、一体感の醸成につながるのではないか。 (5) 平成 19 年度より地方交付税が大幅に増				市 長

【代表質問】

順位	5	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
1. 4年間を振り返って	え、財政指標も改善されたが、景気後退、合併10年後からの地方交付税の一本算定など考慮すると財政見通しは厳しい。合併による財政優遇措置が終了する時期を見据えて、今後の財政見通しを問う。 (6) 施政方針で、徹底した情報公開とコミュニケーションの機会の確保で市民の声を市政に反映させると言われた。そのためには、市として全戸にアンケート(広報しょうばらの記事など)を配布し、直接声を聞くことも必要ではないか。現時点での考えを問う。				市 長
2. 水道水源保護条例の制定を	本市は、中国山地の分水嶺をもつ水源のまちである反面、中国道などの交通の要衝でもあり、産廃施設の建設などの問題が絶えず起こる可能性がある。水源を守る確固とした行政や市民の姿勢を内外に明確に示すため、全国各地の先進例に学び、旧東城町でも制定していた水道水源保護条例を制定すべきではないか。				市 長

【代表質問】

順位	5	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
3. 生活交通のあり方について	どこに住んでいても、安心して暮らすためには移動手段の確保が欠かせない。生活交通バスと路線バスの料金の格差についての疑問も多い。また、生活交通バスのないところ、あってもバス停まで遠いところなど、戸口から戸口へのデマンドタクシーなどが避けて通れない。生活交通ネットワーク再編計画には、交通空白地域における外出機会の確保に地域主体の外出機会の確保策への支援、さらに運行経費を地域で負担する各地の例も紹介されている。こうした取り組みも大切だが、これを普遍化することはできないと考える。自治体（国・県）の責任で、移動の権利を保障すべきだと考えるが、基本的な見解を問う。				市 長
4. 第4期介護保険事業計画について	（1）本市の介護保険料が、県内市では低位にあるとはいえ、市民の生活実態からすれば、保険料の引き上げは大きな問題だ。国庫負担を計画的にもとの水準をめざして引き上げていかないと根本的な解決はできない。引き上げが避けられないとしても、一般会計からの支援などで、引き上げ幅を極力低くすることはできなかったのか。				市 長

【代表質問】

順位	5	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項 目	質 問 の 要 旨				答弁を 求める者
4. 第4期介護保険事業計画について	(2) 介護取り上げ、保険あって介護なしを正すため、次の改善が必要と考えるが、見解を問う。 ①在宅生活を制限する要介護認定制度を改善し、現場の専門家の判断による適正な介護を提供すること。 ②身近な相談相手・専門家としてケアマネージャーを支援、育成すること。 ③軽度者からの介護の取り上げをやめること。 ④特養ホームの待機者は市内で何人か。その解消に本気で取り組むこと。 ⑤食費、居住費の自己負担を公的介護制度の対象に戻すこと。				市 長

【個人質問】

順位	1	質問者	藤木 邦明
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 第2子、第3子の保育料の軽減について	兄弟姉妹が同時に入所していなくても、第2子、第3子の保育料の軽減に道を開くべきではないか。 県内市の軽減の状況はどうなっているか。 また、県内市の保育所運営費に占める保育料の割合はどうなっているか。		市 長
2. 庄原市総合サービス㈱等の賃金改善について	庄原市総合サービス㈱は、本市が全額出資した会社であり、その他の株式会社、社会福祉法人等も公設の保育所等の管理、運営を市の指定で行っている。その賃金をその人の年齢、他の職場での経験年数なども加味して指定管理料を決定し、改善を図るべきではないか。 短大新卒採用、経験年数5年採用、経験年数10年採用の保育士の基本賃金は、株式会社、社会福祉法人ごとに、それぞれいくらになっているか。		市 長

【個人質問】

順位	1	質問者	藤木 邦明
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
3. イノシシ駆除 の徹底について	イノシシ駆除に有効な箱わな、捕獲柵を支所ごとに満遍なく設置するよう増やすべきではないか。 また、捕獲しやすい猟期にも自衛駆除の箱わな、捕獲柵を使用できるよう手立てを講じるべきではないか。 支所ごとの箱わな、捕獲柵の設置数はどうなっているか。		市 長
4. 庄原中学校の 建て替えについて	欧米では少人数教育が趨勢となっており、それに対応できる教室数を確保すべきではないか。 また、1学年ぐらいが利用できるランチルームを設けるべきではないか。		市 長 教育長

【個人質問】

順位	2	質問者	谷口 勇
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 集落支援員制度について	過疎に悩む集落に専門の相談員を置き、集落の課題や要望を調査して解決策を提言し、市町村と連携して対策の実現を図る。その人件費や活動費を国からの交付税でまかなう仕組みが、新たな過疎対策として総務省が3月から導入を進めている集落支援員制度だ。 これまでの公共事業中心、つまりモノによる支援から人による支援に転換しようとするもので、協働のまちづくりを進める一歩として期待される一方、農林業の所得や後継者問題の議論なくして、農林業及び迫り来る限界に怯える集落に再生はないと厳しく課題を指摘する向きもある。 それぞれに意見のあるところだが、この集落支援員制度をどう評価しているか。 また、この制度を導入する場合、支援員の採用や業務委託などについて、どういう形態を想定しているのか。本制度に取り組む準備状況について伺う。		市 長

【個人質問】

順位	2	質問者	谷口 勇
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
2. まちづくり基本条例について	地方分権時代を生き抜く基礎自治体として、市民参画、協働のまちづくりを基本に自主性や自立性、個性に富んだ地域社会の実現を図ることをねらいにまちづくり基本条例が平成 20 年度から 2 年間の予定で策定中だ。 本条例の策定により、みずからのまちはみずからの手でという住民自治の仕組みがさらに加速することを期待しているが、住民自治の担い手の中心は、自治会や自治振興区と考えるのが一般的だ。今日までの自治振興対策としての取り組みもこうした状況を想定してのことと考えて間違いないと思うが、見解は。 展開次第では、より直接住民自治に近い仕組みの可能性がある。自治振興区など住民自治組織の機能や権限がより強く、高度なものに発展していくべきと考えるが、見解は。 直接住民自治に近い仕組みが実現した場合、行政と市民、住民自治組織、そして議会との望ましい関係とはどういったものか。まちづくり基本条例によって期待されている市民間の姿、イメージについて伺う。 今後、この条例の策定はどういった計画で進むのか。進捗状況についても伺う。		市 長

【個人質問】

順位	2	質問者	谷口 勇
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
3. 低所得者対策としての生活支援・セーフティネットの体系化について	米国発の金融危機に端を発した経済危機到来以前から格差問題の顕在化により、住民はさまざまな生活苦に見舞われている。本市では、昨年12月に緊急経済・生活支援対策本部を設置し、相談業務の取り組みなどを行っている。低所得者対策としての生活支援、セーフティネットに対する一定の検討は済ませていると思うが、生活支援を必要とする方は、多重で複合的な問題を抱えている場合が多いはずだ。誰もが人らしく生きたい。暮らしを保障する衣、食、住、教などについて、市の施策だけでなく、国・県やその他の団体が行う制度などについても支援を求める市民が速やかに利用条件等を理解して制度の恩恵が受けられるよう、説明を受ける側はもちろん、説明する側にもわかりやすい各種生活支援対策の体系化と、これが不十分な場合の見直しなども含めて各種の生活相談に応じられるよう整えておく必要があるように思う。新庁舎も完成し、ワンストップ・サービスが限りなく可能になる。いつでも、どこでも、誰でも、ユビキタス社会にふさわしい支援と相談体制を築き上げていただきたいが、所見を伺う。		市 長

【個人質問】

順位	2	質問者	谷口 勇	
項 目	質 問 の 要 旨			答弁を 求める者
4. 魅力ある職場 としての庄原 市役所を	職員の人事管理・労務管理等、これまでもさまざまな議論がなされてきたが、何よりも誰もが気持ちよく仕事ができ、その結果として市民によりよいサービスが提供できる市役所であってほしい。管理のための管理であっては決してならない。 本市では平成20年度に新設課を組織するに当たり、その職員を庁内公募された実績がある。組織・機構の工夫改善という点でユニークな手法であった。結果についての評価は先のことだと思うが、参考にすべき点はあるのではないか。職員に対してどの課、どの部署で働きたいかアンケート形式での意識・意向調査を実施してはどうか。人気のある職場とそうでない職場が明確になり、そこに何かしらの課題がありはしないのか検証するとともに、自己啓発、自己評価システム構築のための基礎となるよう、またよりよい職場環境づくりに生かせないものかと思う。限られた少ない人員の中での職務であり、時間的余裕はないかもしれないが、職務の邪魔にならないところでぜひとも試してほしい。考えを伺う。			市 長

【個人質問】

順位	3	質問者	赤木 忠徳
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. オール庄原市 でいきましょう	市長は、合併当時に 746.3 億円あった地方債残高を繰り上げ償還等で今年度末には 692.8 億円まで縮小し、27 年度末には残高 457.4 億円と計画している。実質公債費比率も今年度の 23.5%を最高に、27 年度 18.6%とする再建計画を立てている。同時にエネルギー、農業戦略等将来の投資もされた。これには優秀な職員の手腕も見逃せない。平成 21 年度も市長以下職員給与を減額しようとしているが、当初予算の原資とすることに若干疑問を感じるが、まだ長いトンネルの中にいる本市としては、あらゆる財源に手をつけたい気持ちも理解できる。職員の意気込みを感化するためにも、次のことを伺う。 ①平成 21 年度、市長以下、職員の給与減額をどの程度考えているのか。 ②減額しようとしている原資を何に当てられるのか。それは、他市になく本市独自の事業なのか。 ③職員の協力を多くの市民にアピールされるのか。 本市在住者のみならず、本市を愛するすべての人の力を借りて、オール庄原市として住んでよかった、住みたい庄原市にしていましょう。		市 長

【個人質問】

順位	4	質問者	宇江田 豊彦
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 財政健全化に向けて	施政方針において、これまで歳入確保と歳出削減を行った結果、平成 19 年度財政推計では、実質公債費比率が平成 20 年度決算から平成 24 年度決算まで早期健全化基準の 25%を上回ると推計していたが、平成 20 年度決算見込みでは 23.5%がピークとなり、以後低下する見込みであり、今後も経常経費の徹底した削減と簡素で効率的な行政運営を図り、不断の努力と自治体間の財政格差の是正を国へ強く求めることにより、財政健全化を確立しようとしている。 しかし、平成 21 年度当初予算は積極型の予算であり、後年度においても 21 年度規模の予算が続けられればよいが、予算規模が縮小すればたちまち実質公債費比率が 25%を超え、早期健全化基準に達すると思うが、今後の対策についてどう考えているのか伺う。		市 長
2. 人口減少の背景と要因について	本市域においては、昭和 22 年をピークに人口減少が続いており、さまざまな課題が今日生起している。そこで各年代における人口減少の背景と要因を明らかにし、今後の政策に生かすべきと考えるが、節目を 10 年ととらえ、市政の長期総合計画をもとに質問する。		市 長

【個人質問】

順位	4	質問者	宇江田 豊彦
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
2. 人口減少の背景と要因について	(1) 昭和 61 年から平成 7 年までの人口減少の特徴と背景要因について。 (2) 平成 8 年から平成 17 年までの人口減少の特徴と背景要因について。 (3) 平成 18 年以後の人口減少の特徴と背景要因について。 (4) 長期施政方針ともいえる長期総合計画を通して、人口減少に歯止めをかける施策が十分に成果を上げることができたのかどうか、認識を伺う。 (5) 分析を通して、今後の施策へどのように生かそうとされるのか。		市 長
3. 一昨年、西城市民病院へ導入した 2 社目コンサルタントの成果について	昨年 12 月に経営改革プランが出されたが、2 社目に導入した東日本税理士法人の報告、取り組みが生かされた形で経営改革プランが進んでいないと思うが、どのように認識しているのか伺う。		市 長

【個人質問】

順位	4	質問者	宇江田 豊彦
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
4. 市域での高校 を守る取り組みについて	昨年6月13日、広島県教育委員会より県立高等学校再編整備基本計画が出された。 本計画は、平成21年度から25年度までを期間として策定されているが、中でも適正規模化の推進では、1学年3学級以下の小規模校について、①入学率・地元率、②1学年1学級、③利便性が高い地域については統廃合する、としている。 本市まちづくりの視点から見ても市域に高等学校を残していくべきと考えるが、どのように考えているか伺う。 また、市域に県立高校を残すためにどのような取り組みをしようとしているのか所見を伺う。 1,246平方キロメートルの広大な地域において、現在でも通学が困難な状況がある。本市独自の対策を強化すべきと思うが、どのように考えているのか伺う。		市 長 教育長

【個人質問】

順位	5	質問者	小谷 鶴義
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 長期総合計画 の実施計画に ついて	合併時から始まった第1次実施計画は平成21年度で5年を経過するが、新年度予算編成を済ませてみて予定目標に到達の割合は。 平成22年からは合併時の約束、全域事業・地域事業の壁は取り除き、全域の事業として必要に応じて長期の計画作成になる方向だが、合併時の長期総合計画は基本にされたい。CATVも凍結・休止になっているが、今後の方向性はどうか。		市 長
2. 乳幼児等医療 費助成につい て	平成21年度、第1子出産に対し10万円の増額（計20万円）を予定されている。また、乳幼児等医療費の対象者を小学6年生まで拡大する予定だが、中学3年生までの延長が喜ばれるのではないか。検討されたのか伺う。		市 長
3. 乳牛対策につ いて	酪農組合を中心に乳牛の助成事業対策は進んでいるとの報告があったが、酪農家は減少するばかりで、経営は大ピンチとの話もある。酪農家・酪農組合等との話し合いはしているのか伺う。		市 長

【個人質問】

順位	5	質問者	小谷 鶴義
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
4. 比和自然科学 博物館地学分 館整備対策に ついて	比和支所2階部分を活用し、化石・鉱物等の学術資料の展示と地学分館の整備が検討されているが、研究員はせっかくの資料が比和町では人の出入りが非常に少なく、場所について考えてほしいとの希望がある。特殊な物ゆえ興味のある人も少なく、広範囲に人が集まりやすい場所の検討はどうか。		市 長
5. 学校教育の充 実について	全国で学校を使った放課後児童教育（塾）が行われている学校があるとの報道がある。先生は退官された地域の元先生で、ボランティアのような発想であったが、聞いたことはないか伺う。		教育長

【個人質問】

順位	6	質問者	林 高正
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 新庁舎ホールの 活用案は	提案だが、新庁舎のホールに高齢者や障害者の方々にも気軽に対応できる総合案内所を設置されたい。そして各種証明書の受付機能を持たせれば、業務の効率化も図れると思うが、いかがか。 憩える喫茶や図書コーナー（ネット対応）、気軽な相談コーナーも設けられたい。つまり、ホールに来ればすべてのサービスが受けとれるワンストップサービスの提供を望むが、いかがか。		市 長
2. 道州制を見据えた自治振興のあり方について	私は、基本的に道州制に賛成だ。それは、国の諸制度が既に制度疲労を起こしており、国民が不利益をこうむっていると考えからだ。政府自民党は、合併特例債の償還が始まる平成 27 年から平成 30 年には道州制移行を模索しているようだ。 問題は、基礎自治体であり、その末端の自治振興区だ。いまだに自治振興センターが立ち上がっていない地域をどうするのか、自治振興区や自治会が機能していない地域をどうするのか、待ったなしの状況と考えるが、考えを伺う。		市 長

【個人質問】

順位	6	質問者	林 高正
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
3. 各種体育施設 等の有効活用 について	総合体育館や温水プールなどを積極的な連携活用によるスポーツ振興、健康増進のプログラムは存在しているのか。庄原日赤や西城市民病院と連携したプログラムを開発して、積極的な体育施設の有効活用を図れば、結果として病気知らずの市民が多く暮らすまちになれると思うが、どう考えているのか。 さらに各支所などにある、余り活用されていない車両（福祉車両を含む）等を活用し、生活交通車両の機能も持たせた健康増進支援バスとして曜日を決めてプログラムと連動して走らせることも考えられるが、いかがか。 また、体育施設や文化施設のネットでの予約システムは開発できているのか。		市 長 教育長

【個人質問】

順位	7	質問者	松浦 昇
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
1. 市民が主人公 の市政運営に ついて	アンケートに寄せられたいくつかの意見として、合併しなかったらもっと悪くなってくるのではないかと心配もあり、本当のところわからない。旧庄原市本位の行政になっていないか。支所は人数が少なくなり、人員の削減により支所の人たちも十分なサービスが行えなくなった。各地域の取り組みが活発になったが、高齢化でとどまるのが心配。などがある。 こうした意見の背景に何があるのか一つひとつ精査して、説明責任と施策を使って一体感の醸成と一体的な発展に努められることが必要と考えるが、所見を伺う。		市 長
2. 西城市民病院 の充実を	西城市民病院は、地域の医療を守るために現状より後退することなく充実させる取り組みが求められている。共産党が取り組んだアンケートでは、採算だけでなく、住民の命、健康第一に考えてほしい。認知症病棟の再開、など27件の意見が寄せられている。そうした中、西城市民病院の運営形態を全部適用に変更する議案が提案されたが、次の点について所見を伺う。		市 長

【個人質問】

順位	7	質問者	松浦 昇
項 目	質 問 の 要 旨		答弁を 求める者
2. 西城市民病院 の充実を	(1) これまで地方公営企業の全部適用してこなかった理由は何か。 (2) 具体的に全部適用でなければならないことは何か。 (3) 西城市民病院の経営危機が全部適用で回避できると思われているのか。 (4) 西城市民病院の問題の要因は何か。市民に選ばれる病院はどうあるべきか。認識を伺う。		市 長
3. 平和行政の推進について	(1) 4年間の施政方針を読み返してみたが、平和行政の推進について読み取ることができない。市政運営の基本的な課題だと考えるが、所見を伺う。 (2) 社会教育、学校教育で平和問題の位置づけはどうなっているのか。 (3) 平和行政推進の予算計上の状況は。		市 長 教育長

【個人質問】

順位	7	質問者	松浦 昇	
項 目	質 問 の 要 旨			答弁を 求める者
4. 青年が生きがいをもって住めるまちづくりを	若者対策でのアンケートの中味をみると、結婚していない青年が多くなっている。少子化の原因であり、積極的に取り組んでほしい。いくら子どもを帰したくても働く場所が少ない。一般企業だけでなく、農林業の企業的なものを思考するなどして、何とかしてほしい。若者同士の話し合いをする機会がない。そのため結婚する機会をつくる必要があり、現在の世相では田舎に嫁がなく、老人のみになっていくばかりなど、切実な意見が多く寄せられている。 次の点について、所見を伺う。 (1) 20 歳～30 歳台の市内の青年の実態調査（例えば、就業の形態、青年団体の加入の状況、学習意欲の調査）で行政が支援すべき課題を明確にして本所、支所に青年係を置き、取り組むことが必要と考えるが、どうか。 (2) 21 年度予算で青年対策費を計上しているのか。 (3) 青年が生きがいをもって生活できるよう行政としての基本的な認識と方策をどう考えているのか。			市 長 教育長